



4) テラスのモルタル剥離
モルタルの粒度保証もあるがパラベット上端に手形子が足を突込んでいるのはまずい。ここから水はいくらでも入る。



C4-4 屋上床パラベット漏水の原因

いずれもモルタル仕上げであるがモルタルのみならずコンクリートまでぬれつけられ。樹状目をおねうばかりで手のつけようがない。結局配筋地ではモルタル仕上げ、そのものの検討を要する。

外便器タイルの吸水率は、1%以下である。モルタルのそれは15%あるいはそれ以上である。それ以上である。吸水過多をもった樹脂類のうちから良いものを選びこれを積極的に活用することにより吸水率をできるだけ下げる努力をする。

それにしてもモルタル仕上げで完全を期する確信はない。

C4-5 レンガ壁と漏水

煉瓦壁は一般に確実に強くシャンとしているように見受けられる。レンガはよく焼いたものもセメントモルタル程度の吸水率があり、この点だけから考えると確実に強いはずはない。ほかに何か原因があるのかもしれないが現にしない。とにかく可真のように普段でされたものがシャンとしていて見る者をして叫然とさせる。



C4-6 壁倒(その1)

密集した市街地の大隅、壁突が倒れたり、手足輪が切られたり、事故が多く而自然の処理にも手を強く

夜中にゼタン雪がしんしんと降りつもるといつたばあいは積雪は一種に助らされるが、吹雪ともなれば吹きだまちはたいへんである。

可真は一夜の吹雪の熱るべきいたづらである。